

6 純資産変動計算書（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

純資産変動計算書（普通会計）

平成 20 年度末の純資産残高 1 兆 2,848 億円に対し、平成 21 年度末の純資産残高は 1 兆 2,489 億円となっています。

主な増減要因としては、一般財源と国の補助金等受入により 3,566 億円増加する一方、平成 21 年度の純経常行政コストにより 3,919 億円減少しています。

平成 21 年度は国の経済危機対策に伴い、補助金等受入額が大きく増加したものの、経済情勢の悪化により、地方税収額が低調であったことなどから、1 年間で純資産残高が 359 億円減少しています。

（単位：億円）

	純資産合計	公共資産等整備 国補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
平成20年度末純資産残高	12,848	5,337	12,022	4,512	1
純経常行政コスト	3,919			3,919	
一般財源					
地方税	1,490			1,490	
地方交付税	917			917	
その他行政コスト充当財源	212			212	
補助金等受入	947	401		546	
臨時損益					
災害復旧事業費	1			1	
公共資産除売却損益	2			2	
投資損失	12			12	
損失補償等引当金繰入等	14			14	
科目振替		283	99	184	-
資産評価替えによる変動額	5				5
その他	4		4	0	
平成21年度末純資産残高	12,489	5,455	12,117	5,079	4

